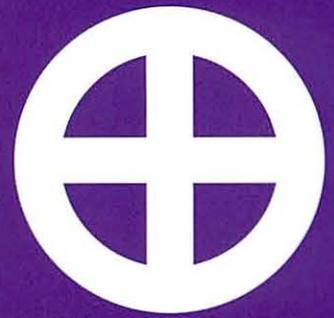


船魂会創立十五周年

塩竈神社改築五周年



記念誌

## 島津光久公

薩摩藩二代藩主（一六三八～一六八七）

先代 島津忠恒  
次代 島津綱貴

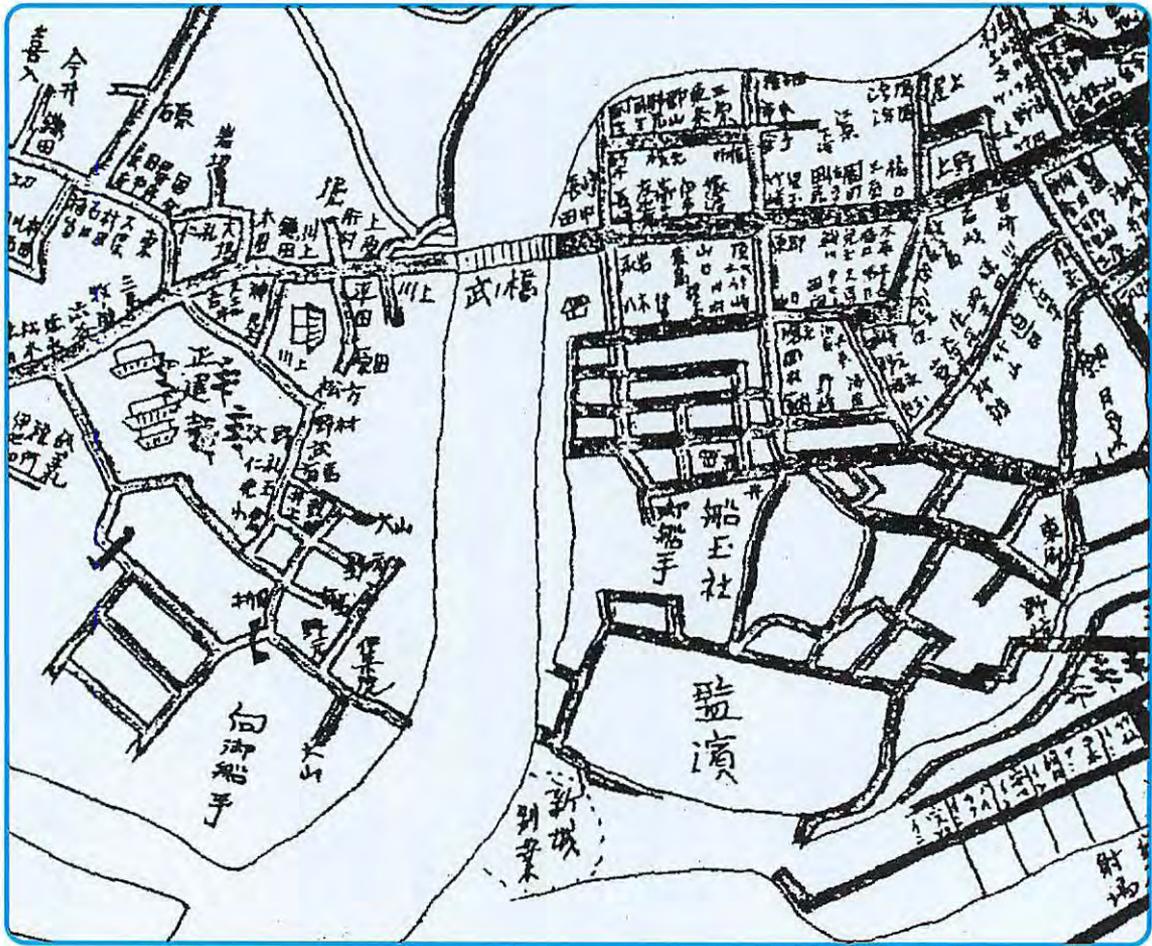
元和二年六月二日（一六一六年七月十五日）  
元禄七年十一月二十九日（一六九五年一月十四日）享年七十五歳

初代藩主島津忠恒（家久）の子。実母は薩州家・島津忠清の娘、養母は島津亀寿（島津義久の三女）。正室は島津家家老・伊勢貞昌の孫娘（曹源院殿）だったが、彼女が万治元年六月十一日（一六五八年七月十一日）に早世した翌年には、京都の公家・平松時庸の養女陽和院殿（実父・交野時貞）と正徳元年八月十二日（一七一一年九月二四日）を継室としている。子は綱久、入来院重矩、満（島津久雄室）、鶴（織田信盛室）など十九男十九女とされている。

内政では財政の立て直しのため家老・島津久通に命じて寛永十七年（一六四〇年）に長野（現在の鹿児島県薩摩郡さつま町永野）に金山を開発。しかし、徳川幕府の妨害により寛永二十年（一六四三年）には早くも操業を停止させられるなど苦難の連続で、金山の再開発が始まるのは明暦二年（一六五六年）であった。光久の治世は、幕府の鎖国政策によりそれまで依存していた海外貿易に収入の期待ができなくなったことから、この金山開発の他、新田開発、洪水対策など、産業振興による収入源の確保が基本政策となった。

その後、光久の長命もあって貞享四年（一六八七年）隠居して孫・島津綱貴に家督を譲るまで五十年に渡り薩摩藩を支配。万治元年（一六五八）、鹿児島の名園・仙巖園もこの光久の命によって築かれた。

また、鹿児島県の夏の風物詩である六月灯も江戸時代初めの旧暦六月十八日に、上山観音堂を造立し仏像を安置した際、光久公が参詣して燈籠を寄進したところ、家臣の多くもこれに追随し、参拝する人々で深夜まで賑わったのが由縁とされている。



江戸時代天保年間 新屋敷周辺地図

# 神社由緒

## 〔御祭神〕

船魂神社

イザナキノミコト  
イザナミノミコト  
サルタヒコノミコト

伊邪那岐尊

伊邪那美尊

猿田彦命

住吉三神

ソコツツノミコト  
ナカツツノミコト  
ウワツツノミコト

(底筒男命・中筒男命・表筒男命)

塩竈神社

塩土老翁命 (別名)

猿田彦命

シオツチオキナノミコト

古くは江戸藩政時代より、鹿児島市内中心部を流れる甲突川河口より錦江湾にかけての一带は官船を繋ぐ役所が置かれ、貿易業・漁業・製塩業等、海上交通の中継地として賑わいのある町であった。第二代薩摩藩主(十九代島津家当主)光久公が明暦三年(一六五七)船魂廟を、延宝八年(一六八〇)塩竈大明神を各々勧請なされ、この地域のご守護とされた。

船魂神社の御祭神は伊邪那岐尊、伊邪那美尊二柱と住吉三神。また両社共に海に縁が深く、道先案内の神・地方開拓の祖神とされる猿田彦命を祀り民間の信仰が厚かった。特に事業面において新しい事を始める時や大事を成す場合「物事の始めに災いを被い、万事最も尊い方向へ導き給う」とされ、時の海軍大臣東郷平八郎元帥も参拝に訪れ、日露戦争の際、清め塩を持参されたと言う。

また、地元の氏子・崇敬者の協力を仰ぎ、船魂神社は平成二年、塩竈神社は平成十四年十二月に大規模な御造営事業を執り行い遷座、御竣工に着手した。

現在でも八方除祓・無病息災・商売繁盛・必勝祈願等広く崇敬を仰ぐお社である。

# 主な年間行事

一月 一日 歳旦正月祭 地域の安寧と国家の隆昌を祈願します  
一月 二日 元始祭

一月 四日 仕事始年頭祈願祭 会社等団体で参拝し、今年一年の安全を願ひ、家業繁栄・商売繁盛を祈願します

一月 十日 十日恵比寿祭

節分皇祭 終日にかけて家内安全・社運隆昌等厄祓

二月 三日

いを行う(船魂午後九時 塩竈午後六時迄)

二月 十八日

船魂神社春祭

三月

塩竈神社春季例祭 この年の稔り、五穀豊穣を祈願致します

五月 二日

船魂神社例祭

六月 三十日

夏越の大祓 一年の節目にあたり、罪穢れをお祓いする

七月 二日

船魂神社六月燈(夏祭) 県内では早い時期の夏の風物詩。ご寄付寄進された方の燈籠を掲げ、雅楽・舞楽・舞踊の奉納行事、抽選会等賑やかに行われる

七月 二十日

塩竈神社六月燈(夏祭) 海の日に因みこの日に斉行する

この日に近い日曜日に境内に隣接する塩釜公園に舞台を設け奉納舞踊・演芸を行う

八月 十三日

お盆祭 祖霊を家に迎えてお送り、送る行事

十月 二日

船魂神社秋季例祭 稔りある収穫を感謝します

十月 二五日

塩竈神社秋季例祭

十一月 二三日

新嘗祭 この秋に収穫された新穀を神々に供え、五穀豊穣に感謝します

十二月 二三日

天長祭 天皇陛下の誕生をお祝いするお祭り 十二月二日 大祓式・除夜祭

十二月

年末神棚祭 年末になると神棚のあるご家庭・会社を廻り注連縄や紙垂を取替え新しい年を迎える

# 祝 辞



昨年九月六日、健やかに悠仁親王殿下がご誕生され、もうすぐ一歳の御誕生日をお迎へになります。先ず以って聖寿の万歳と皇室の弥栄を言祝ぎ奉ります。叔、本年は島津光久公が明暦三年に船魂廟を勧請なされ、三十五年目の節目ある年でもあります。此の度、船魂会が創立十五周年の佳節を迎へるにあたり、心より御祝ひ申し上げますと共に会員各位におかれましては平素より船魂神社の諸施策に対しまして格別の御高配を賜っておりますことを重ねて厚く御礼申し上げます。

顧みますれば貴会は昭和から平成の御世にお遷りした元年、「御大典記念事業」としまして船魂神社改修工事完成と時を同じく、今後の神社運営等諸問題を話し合ふ中で、同志が力を合はせ、様々な奉仕活動を行ひ地域の発展に寄与、また将来へ引継ぐ当社興隆に繋がるとの想ひが当会の結成に到った経緯と記憶しております。振り返って第一回目の議事録を見ますと、会の創設を提唱された堀切潤一郎先生（現事務局長）、山下政廣先生（現副会長）をはじめ、責任役員故葉田今堯氏、米原暉氏、氏子総代室田忠義氏、島広次氏、故増田安仁氏など斯界の重鎮、先輩方のお名前を拝見し、尽力奔走された事が伺へます。

本業職もさることながら内外の外部団体で重席を全ふされ、現在も第一線にて御多忙御活躍であられます西野憲保様を会長としてお迎へして以来今日までの十五年間、正五九月の定例会、祭典の奉仕活動、四季折々には甲突川での花見・月見・餅つき・スポーツ等、会員相互の研鑽、地域社会の発展に努めてこられましたことに深く敬意を表する次第であります。この長きに渡り当会を継続・維持なされた事は偏に、西野会長の誠実な人柄につきまます。当時は、兼務社塩竈神社御造営事業に伴ふ問題もありました。戦前、簡略的に建立された御社は老朽化が著しく、改築整備は急務課題であり、氏子・崇敬者の切なる要望でもありました。幾度か役員会にて議事に上がるものの、船魂神社御造営を成し得たばかりの私にとりまして、多難な諸問題で浮ひては消へる状態に頓挫しており、掘建て小屋のようなおやしるに御鎮座しふる塩竈さまの御霊に申しわけないと思ひつつ、十数年の歳月が流れてしまひました。

平成十三年秋頃、御改築の件案が具体的に持ち上がり、役員会では船魂御造営に携わった比良建築設計、MBC開発を交へ本格的な協議に移りました。船魂会が要となり「塩竈神社御改築実行委員会（奉賛会）」を設立、会長に実直な山下政廣氏を推挙し、当時の新屋敷東町内会平中和夫氏、がながら橋通り会福崎龍夫氏両会長のご協力を仰ぎ、地元との連携で浄財募金活動を行ひつつ改築工事に着手。平成十四年十二月八日、氏子・崇敬者の切望でありました塩竈神社御社殿が見事に御造営され現在では新たに青年会も発足、祭事奉仕に従事活動しております。早ひもので本年は改築五周年を迎へます。若輩未熟ながら両神社の代表役員を勤め、氏子・崇敬者の皆様と接する中で、苦しみを分かち、喜びを共有する仲間がいると言ふ事は、少人数で神社を護持・運営していく上でどれだけの支へになることか。神職の立場からすると感慨深い思ひが胸に染み渡ると同時に、神社界の発展は全国津々浦々に鎮座しふる諸社、或ひはその神職自信にかかっていると感じます。船魂会の重要性を考へますれば、奉仕精神を培ひ日本の伝統文化を探求し指導する力を養ふ中で、今後さらに会員各々が精錬され飛躍することを切に願ふ次第であります。

結びに、貴会の益々の御発展と関係各位の御隆昌・御健勝を心より御祈念申し上げ、御祝辞とさせていただきます。  
平成十九年八月吉日



船魂会結成メンバー



塩竈神社奉祝祭

船魂神社・塩竈神社

宮司 宮田 一 男

## ご挨拶



この度、船魂神社船魂会創立十五周年並びに塩竈神社改築五周年を迎え、ここに記念式典祝賀会を挙行出来ますことは、この上ない慶びであります。

当会は平成二年二月、現在の神社改修工事完成を記して発足の気運が始まりました。当時は確か堀切潤一郎先生、山下政廣先生が幾度となく粗ましのお話しと熱心な働きかけがあり、また、当方の先代から神社への御縁等もあり、一緒に発足する運びとなりました。平成三年は発育期と言いましょか、新しい会員の集まり、方針、事業活動内容等、試行錯誤の時期でした。平成四年の中間頃より会として結末、まとまりが出来たと思えます。特に平成五年一月九日、「神社改築三周年並びに宮田宮司二級進級を祝う会」を契機に船魂会の形がよりしつかりとして来たと思えます。

当会の目的は船魂神社の行事に積極的に参加し、その行事及び船魂会を通じて、会員の親睦を計り、また地域社会に貢献することを掲げております。年間行事は一月の恵比寿祭と定例総会、三月末の花見の会、五月定例会、六月臨時例会、七月夏祭六月燈、後日反省会、十月十一月のゴルフとボーリング大会並びに忘年会、十二月末恒例の餅つき大会、その他家族交流の親睦会、県内外の神社・仏閣視察旅行等を計画しております。

特に七月二日、夏祭り六月燈に際しましては、五月の例会より何度か集まり、会員の意見・企画等を取り入れ、当日参拝される皆様に少しでも楽しんで頂けるよう、また、当日の会員役割を含め進めております。梅雨の最中で船魂さんの六月燈はだいたいの雨で通っておりますが、ここ六、七年お陰さま晴れ続きでホッとしております。

奉仕・友愛・親睦を旨として、年間の行事を進めておりますが、宮田一男宮司のお人柄、奥様はじめご家族の協力と理解があってこれまでやって来れたと思えます。又、会のご婦人方のいつもの協力にも感謝しております。

創立十五周年を記にまた、時代の流れとともに、新しい船魂会を目指す時期でもあると思っております。

船魂神社・塩竈神社の今後ますますの御発展、会員・青年部そして関係者各位の皆様の御健康・御活躍を心より祈念いたしまして、お祝いの挨拶いたします。

船魂会

会長 西野憲保

## ご挨拶



昭和三十一年初春、私は市立城南小学校入学を控え、同級生らと共に塩竈神社境内で新入学のお祝いをして頂きました。主催は町内会かあるいは通り会だったかもしれませぬ。当時、神社の敷地は今よりずっと広く、隣の公園まであったように思います。境内には国旗掲揚台があり、日の丸がはためく中、皆さんのお祝いの言葉と紅白の国旗をかたどった型菓子のおみやげをもらいました。

当時は六月燈やその他、十五夜相撲大会など町内の行事会場としてよく利用されており、神社は地域住民にとり身近な存在でした。もちろん子供達にとっても絶好の遊び場であり、学校からの帰り道、みんなで色んな遊びをしました。

今では子供達の遊ぶ姿を殆ど見かけなくなりました。今の子供たちは家に閉じこもりゲーム・テレビ等、屋外で活動することも少なく、また集団で遊ぶということがなくなりました。そのせいかも知れませんが、児童・生徒のいじめが執拗、陰湿になったように思います。昔は集団の遊びからいじめを学んだように思います。また小さい頃、鳥居の前を通り過ぎようとする人は社殿に頭を下げていくのを記憶しております。自然のうちに神様への畏敬の念が育まれ、見えざる偉大なものの存在を感じる事が出来ました。

その塩竈神社が神主さんの不在で荒れてしまったのはいつの頃からだったでしょうか。年間を通しての神事も寂しく、宮田宮司様をはじめ、新たに選任された責任役員、町内の心ある人達も、地元住民・崇敬者の神社離れの状況を憂いておりましたが、平成十四年十二月に晴れて立派な御社殿改築となり、その際、地域の皆様からも喜ばれ、貴重なご寄付もありました。奉祝祭には地域の方々もご出席され、盛大な記念式典が催されたのはまだ記憶に新しいところです。それから五年経とうとしておりますが、再びかつてのように人々の日常生活に普通に溶け込んできつつあり、大変嬉しい限りです。

日本の伝統・文化を伝える鎮守のお社とし、大人も子供たちも集う場として神社を守り伝えていくのは地域の大人の責務でもあります。今後とも塩竈神社の御改築五周年を祝い、そして弥栄をお祈り致します。

塩竈神社奉賛会

会長 山下政廣

(責任役員)

# 船魂会活動記録 (平成十四年一月)

## 平成十四年度

一月十四日(月)午後六時	当会創立十周年記念祝賀会	ジェイドガーデンズ	六三名
三月三十日(土)午後六時	花見会	甲突川河畔	三十名
五月二十四日(水)午後六時半	定例会	参集殿	二三名
六月八日(土)午後六時	臨時定例会	参集殿	十八名
六月十五日(日)午後六時半	役員会	参集殿	十一名
六月三十日(日)午後三時	六月燈準備	神社境内	十名
七月二日(火)午後六時	夏祭六月燈		
七月六日(土)午後六時半	定例会	参集殿	十六名
同	六月燈反省会	鳥將軍	十三名
七月十九日(金)午後七時	大沼会員を祝ふ会	タンブラー	十六名
九月十八日(水)午後六時半	定例会	参集殿	十八名
十月二一日(火)午前九時	ゴルフコンペ	島津ゴルフ	七名
十一月八日(金)午後六時半	臨時定例会	参集殿	十五名
十二月十二日(木)午後六時	増田杯ボーリング大会	ベイサイドガーデン	十七名
同	忘年会	ふみり庵はいから亭	二五名
十二月二八日(土)午前九時	餅つき	神社境内	約四十名
会外活動			
八月十七日(土)	神社研修旅行		
十八日(日)	宮崎県高千穂神社	参加者 三三名	
十一月十日(日)午後七時	霧島神宮御神火祭	霧島高千穂河原	五名
十二月八日(日)午後二時	塩竈神社竣工奉祝祭	塩竈神社	二十名
平成十五年度			
一月十日(金)午後六時	十日ゑびす・総会	塩竈神社	二五名
三月二九日(土)午後四時半	花見会	甲突川河畔	二二名
五月十六日(金)午後六時半	定例会	参集殿	十九名
六月七日(土)午後六時	臨時定例会	参集殿	十三名
六月十一日(水)午前九時	ゴルフコンペ	島津ゴルフ	十二名
六月二九日(日)午後三時	六月燈準備	神社境内	十名
七月二日(水)午後六時	夏祭六月燈		
七月七日(月)午後六時半	六月燈反省会	とりでん天文館店	二三名
九月十九日(金)午後六時半	定例会	参集殿	十七名

## 平成十六年度

十月二一日(火)午前九時	ゴルフコンペ	島津ゴルフ	十二名
十一月五日(水)午前九時	神社関係者大会(会長表彰)	サンロイヤルホテル	四名
十二月九日(火)午後六時	増田杯ボーリング大会	ベイサイドガーデン	十名
同	忘年会	ふみり庵はいから亭	十五名
十二月二八日(日)午前八時	餅つき	神社境内	約二十名
会外活動			
十一月九日(日)	神社研修旅行	霧島ホテル	
十月十日(月)	霧島神宮御神火祭	霧島高千穂河原	十名
平成十六年度			
一月九日(金)午後二時	会計監査	監査役員宅	二名
一月十日(土)午後六時	十日ゑびす・総会	参集殿	十八名
三月二七日(土)午後四時半	花見会	甲突川河畔	二六名
五月十五日(土)午後六時半	定例会	参集殿	十七名
六月五日(土)午後六時	臨時定例会	参集殿	十六名
六月二七日(日)午後三時	六月燈準備	神社境内	十二名
七月二日(金)午後六時	夏祭六月燈		
七月四日(日)午後六時半	六月燈反省会	居酒屋しず香	十七名
九月十八日(土)午後六時半	定例会	参集殿	十三名
十一月二七日(土)午後六時	増田杯ボーリング大会	ベイサイドガーデン	十二名
同	忘年会	なべしま与次郎店	二三名
十二月二六日(日)午前八時	餅つき	神社境内	約二五名
会外活動			
十一月十日(水)午後七時	霧島神宮御神火祭	霧島高千穂河原	五名
平成十七年度			
一月十二日(水)午後一時	会計監査	監査役員宅	二名
一月十五日(土)午後六時	十日ゑびす・総会	参集殿	二四名
四月九日(土)午後四時半	花見会	甲突川河畔	二二名
五月二八日(土)午後六時	定例会	参集殿	二十名
六月十八日(土)午後六時半	臨時定例会	参集殿	十九名
六月二九日(水)午後三時	六月燈準備	神社境内	十六名
七月二日(金)午後六時	夏祭六月燈		

八月 五日(金)午後六時半 六月燈反省会  
 九月十六日(土)午後六時半 定例会  
 十一月 八日(土)午前八時 ゴルフコンベ  
 十二月 六日(火)午後七時 忘年会  
 十二月二十九日(木)午前八時半 餅つき  
 会外活動  
 十一月 十日(木)午後七時 霧島神宮御神火祭

Kusikago 串籠 十七名  
 参集殿 十六名  
 八米城山ゴルフ倶楽部 十二名  
 なべしま与次郎店 十九名  
 神社境内 約二五名  
 霧島高千穂河原 五名

平成十八年度

一月十一日(水)午後四時 会計監査  
 一月十四日(土)午後六時 十日まびす・総会  
 同 午後七時 新年懇親会  
 四月 一日(土)午後四時半 花見会  
 五月二十日(土)午後六時 定例会  
 六月十七日(月)午後六時半 臨時定例会  
 六月二十九日(木)午後三時 六月燈準備作業  
 七月 二日(日)午後五時半 夏祭六月燈  
 九月 五日(金)午後六時半 定例会  
 十二月 二日(土)午後六時半 忘年会  
 十二月三十日(土)午前八時 餅つき  
 会外活動  
 十一月 十日(金)午後五時 霧島神宮御神火祭

社務所 二名  
 参集殿 十五名  
 舞姑 十六名  
 甲突川河畔 二二名  
 参集殿 十六名  
 参集殿 十四名  
 神社境内 十名  
 参集殿 十四名  
 舞姑 三十名  
 神社境内 約二五名  
 霧島高千穂河原 四名

平成十九年度

一月十二日(金)午後一時半 会計監査  
 一月十三日(土)午後六時 十日まびす・総会  
 同 午後六時半 周年事業役員会(第一回)  
 二月十七日(土)午後六時 周年事業役員会(第二回)  
 三月三十一日(土)午後四時 花見会  
 四月十三日(金)午後六時半 周年事業役員会(第三回)  
 五月十九日(土)午後六時 周年事業役員会(第四回)  
 同 午後六時半 定例会  
 六月十六日(土)午後五時半 周年事業役員会(第五回)  
 同 午後六時半 臨時定例会  
 六月三十日(土)午後四時 六月燈準備作業  
 七月 二日(月)午後五時半 夏祭六月燈

社務所 二名  
 参集殿 十九名  
 参集殿 十八名  
 参集殿 七名  
 甲突川河畔 三十名  
 参集殿 十名  
 参集殿 十九名  
 参集殿 十名  
 参集殿 十八名  
 神社境内 十一名



ゴルフコンベ 島津ゴルフ (平成14年10月21日)



研修旅行 宮崎県高千穂神社 (平成14年8月17・18日)



六月灯片づけ (平成19年7月2日)



餅つき (平成18年12月30日)

八月 四日(土)午後六時  
 八月二四日(金)午後六時半

周年事業役員会(第六回)  
 船魂会創立十五周年祝賀会

サンロイヤルホテル

十一名

船魂会平成十五年度総会・記念植樹

平成十五年一月十日 於 塩竈神社



総会前に塩竈神社本殿にて参拝



塩竈神社社務所にて総会を開催



塩竈神社境内にて記念植樹



記念植樹を終へて

船魂会活動写真



六月灯



六月灯舞台余興



忘年会 (平成17年12月6日)



餅つき



餅つき



餅つき

# 両社御造営改築工事に携わり



昭和六三年七月二日、船魂神社・社務所改築計画のご指名を有難くお受け致しました。当時、今以上に施設拡充整備が望まれる中、由緒ある船魂廟が都市型神社として、より明るく祈りと感謝の相集う空間を再現できるものかと身の引き締まる思いでしたが、宮田宮司・西野会長（当時総代表）各委員のご指導ご協力を賜りながら十月十九日、基本設計が承認なされ十一月二十八日、MBC開発さん同席の下、工事概要が検討されました。

昭和の御代から年号が改まり、平成元年五月二十七日、御造営地鎮祭が厳粛に挙行され、工事の進捗に応じて手水舎・千木の検討各神社を見学、参考させて頂きました。十月二日、念願の上棟祭がホゼ祭（秋季例祭）に合わせ「エイ、エイ、エイ」の掛け声雄々しく袴姿で挙行されました。明けて平成二年一月二二日、完了検査を行い二日後の二四日、目出度く竣工奉祝祭が執り行われ、剣舞・居合・抜き等がご奉納されました。鳥居を潜り穏やかな広い参道を昇るとご神殿と社務所前に広場を設け、人々を招き入れる空間となり、風格のある新たな賑わいを予感させました。

塩竈神社改築工事ではまず、現地調査を執り行いますと細長い敷地でお社を建立するには少々狭いと感じましたが、幸い隣には「塩釜公園」があり、これと一体化出来れば広い境内地に見えるかと確信しました。必要建物は御社殿（神殿・幣殿・拝殿）と神饌所・授与所・参集所・倉庫、車扱所、手水舎等、限られた敷地にこれらを配置するには、船魂神社での改築設計を活用致しまして、一階に車扱所と神具庫、二階にご本殿の神殿棟と神饌所を、さらに一階に社務所・参集所と、二階に控室のある二棟を計画致しました。

周辺は近隣商業地区で、西側住宅は境界いっぱいまで建っており、日照のことも考慮し、高さの高い神殿は東側に、それより低い神饌所を西側に配置致しました。

神社建築は日本の伝統を要する特殊建築であり、宮大工の匠の技術が必要となります。施工社が木造建築を得意分野とするMBC開発さんでしたので心より安心出来ました。

平成十四年師走の冬晴れの下、竣工した神殿を見上げると荘厳さが増し、公園側から望む神社は見事に公園と一体化し、大変美しいお社が完成したと思えます。

時が経つのは早いもので船魂神社改築より二十年、塩竈神社御造営より五年を迎えましたことを御祈念申し上げまして、一言ご挨拶とさせていただきます。

比良建築設計事務所

所長 比良五郎



船魂会創立十五周年並に塩竈神社御改築五周年おめでとうございます。

船魂神社と弊社のおつき合いは、住宅事業部発足以来三十五年、地鎮祭や起工式、解体祭、入居祭など弊社の祭事ごとに、出張祭典していただいております。又お正月の安全祈願や六月の安全大会にも祈願していただいております。おかげさまで事故もなく順調に仕事が出来て感謝しております。



船魂神社上棟祭（平成元年10月）

昭和六十三年に神社の改築計画を聞き弊社も是非協力をお願いしたく、工事をお願いさせて頂いた。新屋敷の船魂神社全体の改築工事を平成二年無事完成させる事が出来ました。

その十数年後、塩竈神社の本殿、社務所の改築工事も指名をいただきました。世間では百年に一度しかないと言われる神社の工事をさせて頂いた。感謝の気持ちでいっぱいでありました。

工事の進行も不慣れななか、神社側の祭典事の進行や設計者の比良建築設計事務所のご指導の元、両神社共、竣工し奉祝祭をむかえられたことは皆様のお力添えの賜物だと考えております。

MBC開発株式会社

常務取締役 里良男

## 船魂神社御造営に携わり



本殿の腐食部分の修繕と補強をして移動し、参集殿や社務所の増設をさせて戴きました。移動の際は大事な本殿にキズをつけたりこわしたりしないよう十分注意して移動工事の計画をたてました。崇敬者の江藤建設工業の匠の技により水平に約10m上に3m、まくら木と油圧ジャッキで十数人の熟練工で約半月かけ少しずつ慎重に動かす様は壮大で身の引き締まる思いの工事でした。

基礎工事では大型ユニボで地面を掘削中、戦時中空襲で投下された不発弾が出てきて大騒ぎになりました。さいわい信管の無い空爆弾で大きな影響もなく無事進められました。

又、工事中に島津久光公の孫にあたる島津忠廣氏の現場視察があり工事の状況や進捗に興味を示されました。神社側の神事で仮殿遷座祭や本殿遷座祭は幻想的で奥深い行事でした。また上棟祭ではハカマを着て掛け声をかけたり始めての体験で思い出深いものになっております。

神社の工事ならではの建築用語の御神木、屋根に取り付けた千木、鯉木の製作など良い経験をさせていただきましたと思えます。

MBC開発株式会社

工事担当 田中克尚



## 塩竈神社御造営に携わり



現場を管理する者として、一生に一度も無いと思われる社寺建築に携わり、地鎮祭の場所に居た事をたいへん光栄な事と思えます。当時二十六歳の私に社寺建築の知識がある訳でもなく、比良設計事務所の新名先生や、数々の神社を手掛けた経験のある棟梁の宮島さん、又、塩竈神社責任役員、奉賛会その他大勢の方々のお力を借りて、無事塩竈神社改築工事を竣工する事が出来たのだと思えます。

また、宮崎から通う棟梁に船魂神社の参集殿を宿泊宿に提供していただいた宮田宮司様のお心遣いには心感謝致しております。宮大工の宮島棟梁の仕事の手順、精度、仕上がりは素晴らしい技術でした。むくりのある屋根の切り込み、建て上げ、格天井の組み込み、仕事の段取りなどは目をみはる物があり感動も覚え勉強になりました。

船魂神社と塩竈神社は、末永く一人でも多くの皆様方の心より処であることを願っております。



MBC開発株式会社

工事担当 服部潤一

## 山川義塾

〒890-0046  
鹿兒島市西田1丁目12-9  
TEL.257-6500

## 太陽運輸倉庫(株)

〒890-0033  
鹿兒島市西別府町2941-14  
TEL.281-1000

## サンロイヤルホテル

〒890-8581  
鹿兒島市与次郎1丁目8-10  
TEL.253-2020

## 大同生命(株) 鹿兒島支店

〒892-0846  
鹿兒島市加治屋町15-9  
TEL.224-3434

## 平安祭典 鹿兒島会館

〒892-0837  
鹿兒島市甲突町27-22  
TEL.226-4194

## 堀切税理士事務所

〒890-0067  
鹿兒島市真砂本町35-1  
TEL.255-7759

## ルミエール西陵

〒890-0032  
鹿兒島市西陵5-12-10  
TEL.282-4949  
フリーダイヤル0120-024949

# 塩竈神社御改築五周年を迎えて



人生において慶弔吉凶、事ある毎に頼って行くのが神仏です。心の寄り処である『鎮守の社』として、塩竈神社の御神殿が念願どおり見事にご改築されて、早や五周年を迎える事になりました。

見るも無残な無人のお社を見るにつけ、何とかならないものかと、早くから船魂神社の宮田宮司さんにご要望して居りましたが、宮司さんの決断のもと、氏子崇敬者を始め有志の方々、地域の沢山の皆様の深甚なご賛同ご協力を戴き、予想以上の立派で荘厳なる御神殿を見ることが出来ました。

私共地元の一員として誠に喜ばしく、感謝に堪えない処で御座います。昭和の初期、私がまだ小学生の頃の事です。塩竈神社は今の「がらがら橋バス停」の附近より、斜めに細い袋小路の突き当たり鎮座して、近所の子供達が境内に集まって遊んでいたものでした。

一時期、鳥居の手前に旧制中学校の先生が住んで居られ、折にふれ子供達を集めて、神主さんと二人して、歴史の話や精神訓話など教えていただいたことを思い出します。特に十二月の寒い夜、赤穂義士伝の輪読会で、お母さんが餅の入った熱いゼンザイをふるまってくれた記憶も残っています。

亦、正月や六月灯の時は、附近に屋台も並び家族揃ってお参りし、楽しいものでした。

少年時代の懐かしい体験は、いつまでもふるさとへの郷愁として、暖かく思い起こすものです。

春夏秋冬、四季折々にふれ、地域の氏神様として、氏子や地元住民を交え共に活動し、ふるさとを偲ぶ心の寄り処になつて欲しいと思うことでした。

これからも氏子崇敬者、地域の皆様方より一層のご援助ご協力を戴いて、塩竈神社の益々の弥栄を、祈念致します。

## 塩竈神社

責任役員 福崎龍夫



夏祭り六月灯作業風景



塩竈神社 上棟祭 (平成14年10月4日)



塩竈神社 御社殿改築地鎮祭 (平成14年6月23日)



塩竈神社社殿



塩竈神社旧社殿

塩竈神社奉祝祭（平成十四年十二月八日）



祝儀舞（仙田賢太郎）



感謝状授与



奉祝祭典奉仕を終へて 鹿児島県神道青年会



船魂会 西野会長祝辞



奉賛会 山下会長挨拶

# 塩竈神社ご改築の経過

平成十四年

二月三日(土) 責任役員総代会 八名 於 船魂神社  
「塩竈神社御社殿改築実行委員会(奉賛会)設立」の件につき協議を計り承認を得る

四月 九日(火) 責任役員総代会 七名 於 船魂神社  
「奉賛会」設立につき会長を山下責任役員に依頼する件ついて役員承認を得る

四月二二日(日) 町内会説明会 十六名 於 新屋敷東公民館  
一、御社殿並に社務所改築工事の件  
一、奉賛会設立の件

五月 八日(水) 午後六時 「奉賛会」発足式 二十四名 於 船魂神社

挨拶  
挨拶  
事業計画の説明  
社殿改築概要の説明改築概要  
議事  
(一) 奉賛会会則承認の件  
(二) 役員選任の件  
(三) 事業計画・予算(案)承認の件  
(四) その他・奉賛会役員紹介

比良建築設計事務所 新宮山宮  
宮司 宮山 田下 政一  
奉賛会会長 橋宜 義 孝昇 廣男  
理事 堀大 切沼 潤秀 一郎  
副会長 堂平 地中 恭和 敬夫  
監理事務 福崎 大沼 龍夫 豊夫

六月 一日(土) 午後六時 第一回役員会 於 船魂神社  
山下会長・平中副会長・福崎理事・大沼理事・宮司・橋宜  
一、会の概要  
一、募金活動の件

六月十六日(日) 午後七時半 仮殿遷座祭

六月十八日(火) 解体工事

六月二三日(日) 午後四時 地鎮祭

改築工事

七月 六日(土) 午後五時 第二回役員会 於 船魂神社  
山下会長・平中副会長・堂地理事・福崎理事・大沼理事・橋宜  
一、「仮殿遷座祭」並に「地鎮祭」終了報告  
一、改築工程の説明  
一、六月燈の件  
一、募金活動報告

七月二十日(土) 夏祭り六月燈斉行



地鎮祭直会 (6月23日)



地鎮祭 (6月23日)



解体工事 (6月18日～)



仮殿遷座式 (6月16日)



発足式 (5月8日)

**(株)野元クレーン機工**

〒891-0122  
鹿児島市南栄二丁目12-4  
TEL.260-6661

**(株)肥後産業**

〒891-0131  
鹿児島市谷山港三丁目4-13  
TEL.261-3993

**長島商事(株)**

〒890-0062  
鹿児島市与次郎一丁目6-14  
TEL.256-5337

**(有)福岡奉製**

〒834-0081  
福岡県八女郡立花町山崎1961  
TEL.0943-23-3412

**三富興業(資)**

〒892-0834  
鹿児島市新屋敷町6-21  
TEL.224-3811

**吉田葬祭**

〒892-0805  
鹿児島市大竜町10-2  
TEL.247-1417

**三好産業(株)**

〒890-0043  
鹿児島市鷹師二丁目4-6  
TEL.251-5315

**第一海運(株)**

〒892-0835  
鹿児島市城南町36  
TEL.224-2325



## 船 魂 会

役 職	氏 名	住 所	電 話	F A X
会 長	西 野 憲 保	鹿児島市千日町13番24号	224-3232	222-5075
副 会 長	川 野 純 英	鹿児島市南林寺町3番9号	223-6244	223-6247
副 会 長	山 下 政 廣	鹿児島市荒田2丁目5番13号	255-8863	255-6745
監 事	新 名 義 孝	鹿児島市上之園町8番3号	253-3555	253-3556
会 計	島 広 次	鹿児島市新屋敷町5番13号	222-5340	222-5340
会 員	米 原 暉	鹿児島市新屋敷町21番5号	223-9626	222-2919
会 員	大 沼 秀 豊	鹿児島市吉野町7034番地14号	244-3176	244-3184
会 員	前 田 徳 雄	鹿児島市紫原5-7-28-302	257-9033	257-9033
会 員	田 中 克 尚	鹿児島市樋之口町1-1	226-7657	227-1465
会 員	西 賢 一	鹿児島市吉野町7530番地1	244-6315	244-6315
会 員	樋 口 利 盛	鹿児島市小山田町4429-2	238-2812	228-4500
会 員	室 田 博 之	鹿児島市吉野町9700	247-0066	
会 員	増 田 伸 子	鹿児島市草牟田2丁目37番18号	225-2956	225-2956
会 員	川田代 泰 和	鹿児島市郡元2丁目11番5号	252-4444	251-4444
会 員	中 村 千江子	鹿児島市山之口町8番41号	222-4615	222-2719
会 員	古 川 富 男	鹿児島市新屋敷町6番21号	224-3811	226-1832
会 員	栗 須 伸 隆	鹿児島市新屋敷町5番17号	224-0088	225-0133
会 員	蓑 田 耕 作	鹿児島市新屋敷町14-14-204	224-5477	224-5477
会 員	小 西 晴 雄	鹿児島市船津町5番8号	222-6522	222-6523
会 員	谷 口 勝 典	鹿児島市新栄町26番22号	257-8988	257-8944
会 員	本 村 純一郎	鹿児島市樋之口町6番11号	222-5212	227-3039
会 員	久 保 仁 人	鹿児島市中町8番9号	222-1200	219-5068
事務局長	堀 切 潤一郎	鹿児島市真砂本町35番1号	255-7759	255-7797
宮 司	宮 田 一 男	鹿児島市新屋敷町5番15号	226-7457	222-0195
祢 宜	宮 田 昇	鹿児島市新屋敷町32番13号	227-1272	227-1273
権 祢 宜	宮 田 薫	鹿児島市新屋敷町5番15号	226-7457	222-0195

## 塩 竈 神 社 役 員

役 職	氏 名
代表役員	宮 田 一 男
責任役員	山 下 政 廣
責任役員	堀 切 潤一郎
責任役員	川 野 純 英
責任役員	福 崎 龍 夫
青 年 会	
会 長	堀 切 祐 司
副 会 長	下 晃 潤
副 会 長	川 野 友 三
監 事	吉 永 伸一郎
事務局長	下 南 文 人
事務局員	宮 田 昇
理 事	江 藤 将 史
理 事	福 原 洋一郎
理 事	岩 元 真一郎
理 事	原 田 慎 吾

塩竈神社青年会は社殿奉祝の翌年、平成十五年十二月発足致しました。  
ボランティア精神を心がけ、主に大晦日から正月にかけての年越し祭り、夏祭りの六月燈、例祭等の年間を通じて行事の準備と定期的な勉強会を行っております。



塩竈神社青年会

◎社頭祈願奉仕のご案内

安産・厄除祓(皇祭)・初宮詣・車祓・安全祈願・身体健全・無病息災・  
病氣平癒・海上渡航  
七五三詣・七草祝・学業成就・合格祈願・成人報告祭・年祝い・  
還暦祝・結婚報告祭  
『人生の節目ごとに、神様に感謝しご加護を願います。  
人生儀礼を通して生命の尊さを考えましょう。』

◎出張祭典奉仕のご案内

〔地鎮祭(起工式)〕 家屋やビル等建造物を建てるにあたり、その土地の産土神にご報告致します。  
〔上棟祭(棟上式)〕〔竣工祭)〕  
〔入居祭)〕 これからお住まいすることを産土様にご報告申し上げ、各々部屋をお祓い致します。  
〔清祓全般)〕〔井戸埋・屋内外・会社事務所・店舗・工場等の新設、解体)〕  
〔地神水神祭)〕 日常の生活においてその土地・敷地内に鎮まる神に感謝するお祓い。  
〔神棚祭)〕 神棚をお祀りし、日々の恵みに感謝します。年に一度御札と紙垂をお取替えし、  
家内安全・社運隆昌を祈祷致します。

〔葬儀(神葬祭)〕 亡き故人の御霊を鎮め、厳かに先祖の世界へいざないます。  
〔年忌祭・慰霊祭・称月命日祭)〕 節目の年に故人を偲び祖先を尊び御霊をお祭り致します。  
〔墓前祭)〕 納骨祭またお墓の購入時に御先祖にご報告しお祓い致します。  
※その他、冠婚葬祭・諸祭事についての詳しい内容説明等はお気軽に社務所迄お申し出下さい。  
◆お祭りは日本の伝統文化です。大切に守り伝えましょう。



船魂神社 祖霊殿

船魂神社  
塩竈神社

鹿児島市新屋敷町五番十五号  
電話〇九九―二二六―七四五七  
FAX〇九九―二二二―〇一九五  
鹿児島市新屋敷町三十二番十三号  
電話〇九九―二二七―二二七二  
FAX〇九九―二二二―二二七三

兼務 西別府 諏訪神社  
田上 八幡神社  
田上 吉満神社

**(株)カワノ建材店**  
〒892-0834  
鹿児島市南林寺町3-9  
電話223-6244

**ホテル  
ニューニシノ**  
〒892-0843  
鹿児島市千日町13-24  
電話224-3232

**(有)本村印刷**  
〒892-0845  
鹿児島市樋之口町6-11  
TEL222-5212

**MBC開発(株)**  
〒892-8563  
鹿児島市樋之口町1-1  
TEL226-7777

**REネット**  
Net Wave Co.Ltd  
[本社] 鹿児島市興和町2番7号 TEL099-255-7744  
[くらしなっと] 鹿児島市高津1丁目16番16号 TEL099-812-5677  
[鹿島編み物] 鹿児島市1-11-11 フレスポジャンクビル1階 TEL099-208-0166

**酒処 舞姑**  
〒892-0833  
鹿児島市松原町1-14  
電話226-0515

**(株)谷口工研**  
〒890-0072  
鹿児島市新栄町26-22  
電話257-8988

**(有)お仏壇  
の久保仁**  
西本願寺別院通り  
〒892-0827  
鹿児島市中町8-9  
TEL222-1200

船魂会創立十五周年  
塩竈神社改築五周年 記念誌

平成19年8月発行

編集・発行

船魂神社・塩竈神社  
周年事業実行委員会

印刷

有限会社 本村印刷

